



運河の遺跡 足田舟川

ひきだふなかわ

敦賀市足田など

舟川を囲い、街道集落の面影を残す細長く連なる足田の町並みからは、荷を運ぶ喧噪の面影など歴史に縁取られた風情を感じる。



足田の町並みを通り抜ける舟川^①

江戸時代から宿場町として発達した足田地区では、町並みの中央を貫く立派な水路を見ることができます。

これは、敦賀港から京都に向けて物資を輸送するために設けられた運河（舟川）の遺構で、この舟川を海産物等の物資を積載した舟が往来しました。

釜の川から足田舟川まで続く運河を遡ると、舟が急流の中、曳き上げられる光景が思い浮かぶようです。



釜の川 中流



釜の川 河口（運河の始まり）



足田舟川に沿って続く町並み

足田付近の舟川は、急流のため水位が上がらず、積荷を満載すると舟底がつかえるため、川底に丸太を敷いて滑りやすくする工夫がなされ、道路に沿ったところでは幾人もの人夫により曳き上げられたそうです。



舟川の流れに親しむ



交通の要衝だった証、道標^②

写真①～②は敦賀市提供